

中酪情報 No.595

2021年9月30日発行
毎号奇数月末発行

発行：一般社団法人 中央酪農会議
編集・発行人：寺田 繁
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-6-1
TEL:03-6688-9841 FAX:03-6681-5295

ご意見・ご感想をお寄せください。

読者の皆さまにもっと本誌をご活用いただきたく、より良い誌面作りに向けて努力してまいります。本誌へのご意見やご要望、ご感想がございましたら、電話・FAX・ホームページにて下記の「中酪情報」編集部までお寄せください。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

宛先及びお問合せ先

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-6-1
一般社団法人 中央酪農会議「中酪情報」編集部
TEL:03-6688-9841 FAX:03-6681-5295
<http://www.dairy.co.jp/>
(中酪HP「お問い合わせ」ページよりアクセスできます)

編 集 後 記

農林水産省「新規就農者調査」によると、令和2（2020）年の新規就農者は5万3,740人で前年に比べ3.8%（2,130人）減少し、このうち49歳以下は1万8,380人で同0.9%（160人）減少しました。農業生産の担い手の高齢化は年々進んでいますが、これは突き詰めて言えば、新規就農者、とくに若齢の新規就農者の減少に起因していると言えます。同調査は平成18（2006）年から毎年実施されていますが、農業生産の担い手の高齢化に伴って、各地域における農業の持続可能性についての危機意識が底流にあると考えられます。

なお、49歳以下の新規就農者を就農形態別にみると、新規自営農業就農者は8,440人で前年に比べ8.1%（740人）減少、新規雇用就農者は7,360人で同3.8%（270人）増加、新規参入者は2,580人で同13.7%（310人）増加しました。このような状況は、若齢の新規自営農業就農者の減少を新規参入者の増加でカバーできないことによって、農業経営体数が減少していくことを、同時に、新規雇用就農者の増加によって、農業生産構造が大規模・企業化の方向に展開していくことを示唆しています。